

問題解決の基礎

No. 112

目的

情報マネジメント(観察、記録、整理)の基本を実践
課題を速やかに発見し、解決策を立てる手法を学ぶ

特長

職場の問題を、研修の場で解決
野外科学から生まれたKJ法の取材技術

対象

一般社員・職員～あらゆる職種・階層
(最適人数 6名 ~ 最大 18名程度)



Table of Contents [DAY1] (Total 6H ~ 7.5H)

イントロダクション 研修体系における本セミナーの位置づけと役割 セミナーの目的、内容、進め方およびゴール	
1 問題解決の基礎	フィールド・サイエンス(野外科学)とは? KJ法流、問題解決学 探検の5原則
2 探検ネットで現状認識	探検型花火(パルス討論又は点メモ花火)で、現状認識
3 探検ネットで現状認識(続き)	探検型花火(パルス討論又は点メモ花火)で、現状認識
4 探検ネットで課題発見	問題の本質について考える
振り返りとまとめ 本日の反省点および達成度の確認 質問	

[DAY2] (Total 6H ~ 7.5H)

イントロダクション 前日の振り返り 本日のセミナーの目的、内容、進め方およびゴール	
1 記録力	情報収集の原則: 内部探検と外部探検 点から線へ、線から面へ。野外科学の点メモ技法 感情と思考の見える化 記録を使って、記憶を整理
2 "実践"「アクション・リサーチ」	意見交換の議論をすべて記録 記録を使って、意見を述べる 記録を使って、議論を再現
3 統合型花火で対策案策定	具体策をブレイン・ストーミング 方向性を打ち出す アクション・プランの策定
4 発表と意見交換	共通認識の確認 建設的意見交換
振り返りとまとめ 反省点および達成度の確認 気づきとアンケート	